

104-256

問題文

76歳男性。軽度の認知症、糖尿病、高血圧、うつ病のため、以下の処方薬を常用している。1年前から頻尿、残尿感及び排尿困難感があったが放置していた。風邪気味であったため、2日前に自宅の常備薬である市販の総合感冒薬を服用した。

昨日の昼から尿がほとんど出なくなったため、かかりつけ薬剤師に相談に来た。

(処方)

カンデサルタン口腔内崩壊錠 4 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)
シタグリブチンリン酸塩水和物錠 50 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)
	1 日 1 回 朝食後 30 日分
イミプラミン塩酸塩錠 25 mg	1 回 3 錠 (1 日 6 錠)
	1 日 2 回 朝夕食後 30 日分
ボグリボース錠 0.2 mg	1 回 1 錠 (1 日 3 錠)
	1 日 3 回 朝昼夕食直前 30 日分
リバスチグミン経皮吸収型製剤 18 mg	1 回 1 枚 (1 日 1 枚)
	上腕部に貼布 30 日分

また、総合感冒薬に含まれている成分は以下のとおりである。

- アセトアミノフェン
- d-クロルフェニラミンマレイン酸塩
- ジヒドロコデインリン酸塩
- dl-メチルエフェドリン塩酸塩
- 無水カフェイン

問256

この患者が常用している処方薬の中で、この総合感冒薬と併用すると排尿障害が増悪する可能性の高い薬剤はどれか。1つ選べ。

1. カンデサルタン口腔内崩壊錠
2. シタグリブチンリン酸塩水和物錠
3. イミプラミン塩酸塩錠
4. ボグリボース錠
5. リバスチグミン経皮吸収型製剤

問257

前問で選択した薬物と総合感冒薬に含まれている1成分は同一の作用機序で、この患者の排尿障害を増悪させた。その機序として正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 膀胱括約筋のアドレナリン α_{1A} 受容体刺激
2. 膀胱括約筋のアドレナリン α_{1D} 受容体刺激
3. 排尿筋のアドレナリン β_3 受容体刺激
4. 下部尿道括約筋のアドレナリン β_2 受容体刺激
5. 排尿筋のムスカリン性アセチルコリン M_3 受容体遮断

解答

問256 : 3問257 : 5

解説

問256

問257 とまとめて解説します。

問257

尿閉は、クロルフェニラミンマレイン酸塩の抗コリン作用による → 三環系抗うつ薬（イミプラミン）の抗コリン作用で排尿障害増悪する、と考えられます。「抗コリン」なので、M 受容体の遮断です。

以上より、問256 の正解は 3 です。

問257 の正解は 5 です。